

# おおきな かぶ

おじいさんが、かぶの  
たねを まきました。  
「あまい あまい かぶに  
なれ。おおきな おおきな  
かぶに なれ。」



あまい あまい、  
おおきな おおきな  
かぶに なりました。



おじいさんは、おばあさんを よんで きました。  
かぶを

おじいさんが ひっぱって、  
おじいさんを  
おばあさんが ひっぱって、  
「うんとこしょ、どっこいしょ。」  
それでも、かぶは ぬけません。



おばあさんは、まごを  
よんで きました。  
かぶを  
おじいさんが ひっぱって、  
おじいさんを  
おばあさんが ひっぱって、  
おばあさんを  
まごが ひっぱって、  
「うんとこしょ、  
どっこいしょ。」  
やっぱり、かぶは  
ぬけません。

まごは、いぬを よんで きました。  
かぶを

おじいさんが ひっぱって、  
おじいさんを  
おばあさんが ひっぱって、  
おばあさんを  
まごが ひっぱって、  
まごを



いぬは、ねこを よんで きました。  
かぶを

おじいさんが ひっぱって、  
おじいさんを  
おばあさんが ひっぱって、  
おばあさんを  
まごが ひっぱって、  
まごを



まごを  
いぬが ひっぱって、  
いぬを  
ねこが ひっぱって、  
「うんとこしょ、どっこいしょ。」  
なかなか、かぶは ぬけません。

ねこは、ねずみを よんで きました。  
かぶを

おじいさんが ひっぱって、  
おじいさんを  
おばあさんが ひっぱって、  
おばあさんを  
まごが ひっぱって、  
まごを  
いぬが ひっぱって、  
いぬを  
ねこが ひっぱって、  
ねこを  
ねずみが ひっぱって、

「うんとこしょ、  
どっこいしょ。」

とうとう、  
かぶは ぬけました。

